

32市町村と事務組合も

県が東電に賠償請求

ゆり子県議が3月の予算特別委員会で知事に迫る



原発再稼働表明に抗議

9日、野田佳彦首相の大飯原発再稼働表明に抗議し、撤回を求める街頭演説を、山形市内で石川渉・衆院山形1区候補とともにに行いました。

石川候補は、「福島原発事故の原因究明もいまだなされず、大飯原発の安全性が確認されていないのに再稼働表明はとんでもない」「原発

に頼らないエネルギー政策の推進、再生可能エネルギー導入をおおいに進めよ」と日本共産党の政策を訴えました。

雨の中でしたが、立ちどまって耳を傾ける姿や、手を振って激励する大學生のグループもあり、タイムリーな行動となりました。

民意を反映した姿勢を示すもの

3月12日の予算特別委員会で、私は「山形県自身も原発事故以来、放射線測定器の購入・測定、避難者支援などの対策に経費も人手もかかっている。市町村とともに東京

電力に損害賠償を請求すべき。同じく請求を行っている民間団体をも励ますことになる」と質問。

吉村美栄子知事は、「原発事故で余儀なくされた経費は県民負担とすべきでないのは明らか。項目を整理し、市町村と連携し損害賠償請求を行う

ていきたい」と答弁していました。

県分の請求額は約5億6183万円で、内容は人件費、放射線対策費、避難者支援対策経費などを含み、災害救助法や国庫支出であてられた以外の持ち出し分となつていきます。

原発事故の原因者に対して民意を反映した姿勢を示したもので、東電は賠償責任を果たすべきです。



2012年6月17日 -25号

発行 日本共産党県議会議員 渡辺 ゆり子

<連絡先>
 県議会 共産党執務室
 電話 023-630-3241(受付)
 自宅：山形市青田2-10-5
 電話 023-642-2365



母親大会で香山氏(左)の講演を聞く会場いっぱいの参加者

ゆり子の視点

第42回山形県母親大会が10日、鶴岡市の山形大学農学部を会場に開かれ、私も参加しました。

午前中は分科会や講座、午後は全体会と記念講演が行われ、約600人の

参加者が学び交流しました。

男性の協力を得ながらも、すべて女性の手で準備運営を行い、粘りよく続けていることは素晴らしいことです。特に運動交流では、

ボランティア活動への協力の訴えもあり、母親たちからあたたかい拍手や支援が送られました。

記念講演を行った精神科医の香山リカ氏は、診察室のケースを例に、複雑な現代社会を生きていく視点やヒントを示し、多くの参加者がうなずいていました。

女性パワーの素晴らしさ

それぞれの地域で創意工夫を凝らし、震災・原発事故避難者の支援活動を展開している報告が感動的でした。

会場の山大的学生からは、放置自転車を修理して被災地へ届ける

「消費税増税阻止や原発ゼロをめざす母親運動をさらに広げよう」という女性の思いがあふれ、元気が出た大会となりました。

共産党演説会が盛会

6月3日の共産党演説会へのご協力、ありがとうございました。

山形と庄内の2カ所で開かれ、私は山形会場で司会をつとめました。

当日は志位委員長のテレビ出演のため、急ぎよ市田忠義書記局長に弁士変更となりました。

初参加の方も多く、「勉強になった」、「その通りだ」、「消費税増税に頼らない道がある」という「提言」をよく読んでみたい」など、様々な感想が寄せられました。

高橋ちづ子衆院議員

震災・原発被災者に寄り添った活動には、さらなる活躍の期待が寄せられ、石川渉・山形1区候補と岩本こうじ山形2区候補の決意表明には、「人柄が伝わってきた」の感想が寄せられました。

演説会への参加と協力や支援に、心から感謝申し上げます。

国民一人ひとりが大切にされる新しい政治の実現をめざして、ともに力を合わせましょ。